

火災件数・焼損床面積・死傷者数など

※ 数値はすべて速報値となります。

区分		板橋区計			板橋消防署管内			志村消防署管内		
		5/31 現在	前年 同期	増減	5/31 現在	前年 同期	増減	5/31 現在	前年 同期	増減
火災件数 (件)	合計	62	52	10	31	17	14	31	35	-4
	建物火災	建物計	45	37	8	22	11	11	23	-3
		全焼	2	1	1	0	0	0	2	1
		半焼	1	1	0	1	0	1	0	-1
		部分焼	8	5	3	2	2	0	5	2
		ぼや	35	30	5	19	9	10	16	-5
	車両		4	2	2	1	1	0	3	1
	その他		13	13	0	8	5	3	5	-3
焼損床面積（㎡）		272	575	-303	128	123	5	144	452	-308
焼損表面積（㎡）		94	381	-287	60	55	5	34	326	-292
死傷者数(人)	死者	1	3	-2	0	1	-1	1	2	-1
	傷者	16	14	2	9	1	8	7	13	-6

出火原因別件数（板橋区内）

火災の概要

令和7年		
順位	区分	件数
1位	電気	16
2位	たばこ	14
3位	放火	11
4位	ガス器具	6



令和7年5月末現在の板橋区内の火災は、前年同期比で10件増加して**62件**となっており、火災による死者が**1名**発生しています。

火災の原因としては、電気機器やコンセントを含む**電気関係**が引き続き多くなっております。また、たばこの不始末やこんろ・ガス器具など身近なものからの火災も増えていきます。

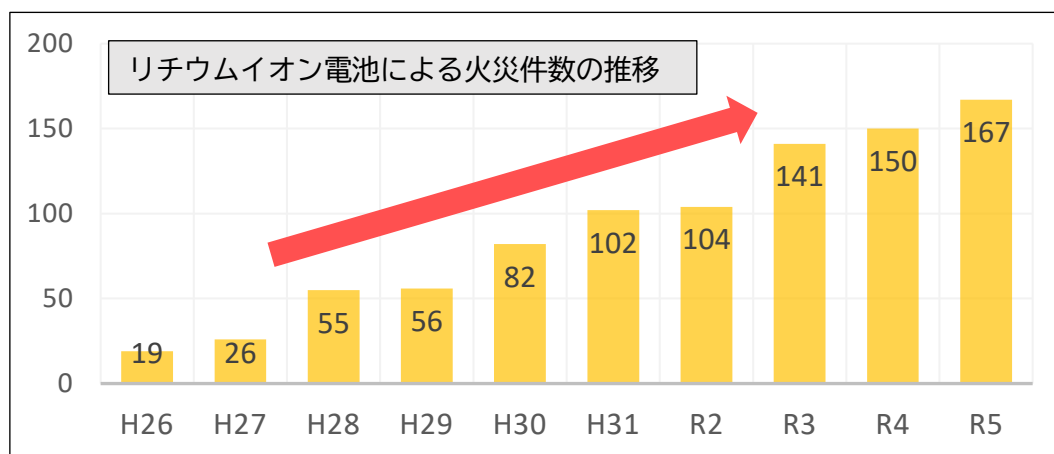
火災を発生させないためには、日頃からの**防火意識**が大切になってきます。コンセントの掃除やタコ足配線を避ける、家の周囲に可燃物を置かない、コンロ周りは整理整頓する、など大切な命や財産を守るために、日頃から出火防止・被害の軽減対策を心掛けましょう。

あなたの身近なリチウムイオン電池 大丈夫ですか？

リチウムイオン電池は充電して繰り返し使え、大容量で寿命が長いことからパソコンやスマートフォン、モバイルバッテリー、コードレス掃除機など幅広い製品に使用されています。

リチウムイオン電池の中には、危険物に該当する液体を含むものがあります。叩いたり落下させたりして強い衝撃を与えることや、誤った方法で充電したり、無理に分解したりすると火災になる恐れがあります。

下のグラフは、東京消防庁管内で発生した、リチウムイオン電池による火災件数の推移です。年々件数が増加しており、令和5年には**過去10年間で最多**の167件となりました。



どんどん件数が増えている。
使う人が増えたからかなあ。



事故事例 ズボンのポケットに入れたスマートフォンが破損し出火！

男性が、階段で足を滑らせてしりもちをついた際に「シュー」という音とともにお尻の辺りが熱くなったため、ズボンうしろのポケットに入れていたスマートフォンを取り出すと炎が出ていました。



炎が出た



事故事例 インターネットで購入した非純正のバッテリーを使用して出火！

コードレス掃除機を充電していたところ、バッテリーパック内でショート（短絡）し、出火して火災になりました。

このバッテリーは、インターネットで安価で購入した非純正のバッテリーでした。



非純正品



リチウムイオン電池の正しい取扱い

- 購入する際は、製品が安全性を満たしていることを示す**マーク（右図）**がついているものを選ぶ。
- 各機器を購入した時に付属していた充電器やメーカー指定の**正規品**を使う。
- 膨張、異音、異臭、充電中に熱くなる、など異常が生じたものは使用しない。
- 可燃・不燃ゴミなどに混ぜず、各自治体が定めるルールに従って廃棄する。



救急車の適時・適切な利用をお願いいたします！

救急車ひっ迫アラート」とは？

救急要請が増加し、非常用救急小隊の編成が必要となる場合等、救急出場体制のひっ迫度合いをお伝えするとともに、救急車の適時・適切な利用を強く訴えかけることを目的としています。

救急搬送された人の半数以上は軽傷

東京消防庁が令和6年中に受けた119番通報は103万6645件に上り、統計上はじめて100万件を超えました。その中には緊急性のない問合せや、**消防に関係ないものが約2割**含まれています。

また令和6年中の東京消防庁救急隊の出場件数は、前年から17,062件増え、935,373件でした。救急搬送された方のうち、初診医師により軽易で入院を要さない**軽症**と判断された割合は、52.8%で**半数以上**を占めています。



緊急性が低い通報

救急車の要請が多く、到着までに時間がかかってしまいます。

真に救急処置の必要がある人のもとに、救急車が到着できるようご協力をお願いします。

不要不急の電話については最後までお話を聞かずに切断する場合があります。



病院？ 救急車？ 迷ったら…

Hospital? Ambulance? When in doubt, call...



東京消防庁救急相談センター

救急車を呼ぼうか迷ったときや、診察可能な病院が分からない場合は、**「#7119」**をご利用ください。

こちらでは、緊急性に関するアドバイスやその時点で受診可能となっている医療機関の案内を行っています。

はじめに…

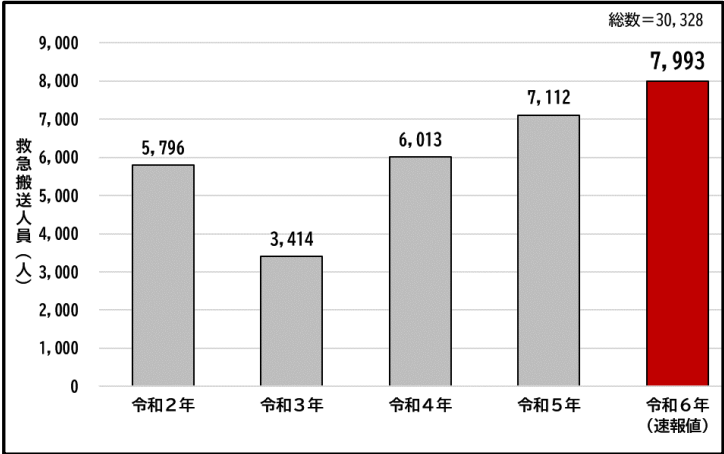


- 熱中症は重症化すると命の危険を伴うものです。
- 熱中症について正しい知識を持ち、熱中症対策を心がけましょう。もし、症状が出たときには適切な応急処置が行えるようにしておきましょう！
- 例年、夏季は気温の上昇とともに救急要請が増加します。救急出場が増加すると近くで待機する救急車がいなくなり、救急車の到着が遅くなるため、救える命が救えなくなる可能性があります。皆さん一人ひとりが熱中症対策を行い、健康被害を減らすことは自身の命を守るだけではなく、真に救急車を必要としている誰かの命を救うことにもつながります。



令和6年 熱中症による救急搬送人数が過去最多！！

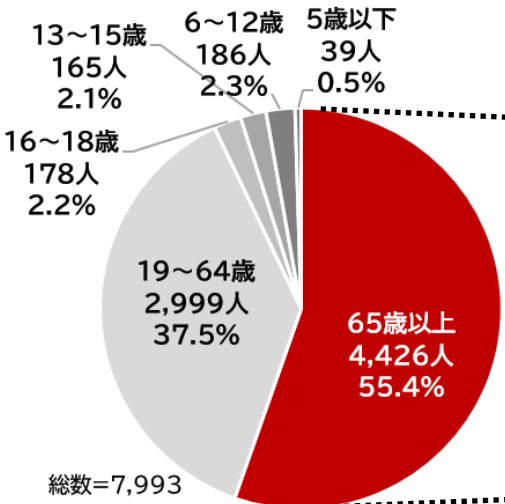
過去5年間（各年6月から9月まで）に、熱中症（疑い等を含む）により30,328人が救急搬送されました。
令和6年の熱中症による救急搬送人員は、これまで最多だった平成30年の7,960人を越え、過去最多となる7,993人でした。
猛暑だった令和5年と比較すると、881人増加しています。



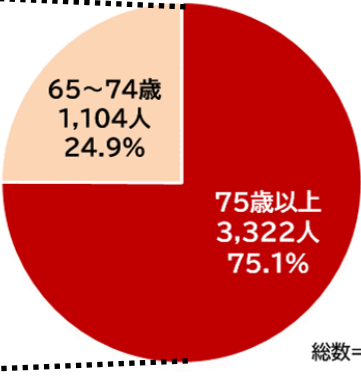
過去5年間の熱中症による救急搬送人員(各年6月～9月)

熱中症により搬送された件数の半数以上が65歳以上の高齢者！！

年齢区分別では、65歳以上の高齢者が4,426人で全体の半数以上を占めています。
そのうち、7割以上に当たる3,322人が75歳以上の後期高齢者でした。
高齢者と後期高齢者の救急搬送人数も過去最多となりました。



年齢区分別の救急搬送人員（令和6年6月～9月）



熱中症の対策とポイント

① 体を暑さに慣らしていく

体を暑さに慣らすことを「暑熱順化」といいます。
日頃からウォーキングなどの運動をすることで、汗をかく習慣を身につけ、熱中症にかかりにくい暑さに強い体をつくりましょう。



② 高温・多湿・直射日光を避ける

【屋外では】
✓ 帽子や日傘を使いましょう。
✓ 日陰を選んで歩きましょう。
✓ こまめに休憩しましょう。



【屋内では】
✓ 扇風機やエアコンを使用しましょう。
✓ ブラインドやすだれで直射日光を遮りましょう。

③ 水分補給は計画的、かつ、こまめにする

✓ のどが渇く前に、こまめに水分補給をしましょう。特に、高齢者の方は注意しましょう。
✓ 起床時、入浴前後にも水分を補給しましょう。
✓ 大量の汗をかいた時は塩分も補給しましょう。



④ 運動時などは計画的な休憩をする

✓ 運動を行う人はもちろん、指導者等も熱中症について理解しましょう。
✓ 大量の発汗があった場合は、スポーツドリンクなどを摂取しましょう。
✓ 応援や観戦等でも水分をしっかりと補給し、注意を怠らないようにしましょう。



⑤ 車両等でこどもだけにしない

✓ 車両のような空間は短時間で室温が上昇し、思わぬ事故につながります。
✓ こどもを車の中で決して一人にしないでください。



⑥ こどもは大人よりも高温環境にさらされている

✓ 地面に近いほど輻射熱は高くなります。
✓ こどもは大人の想像以上に輻射熱の影響を受けていると考えましょう。

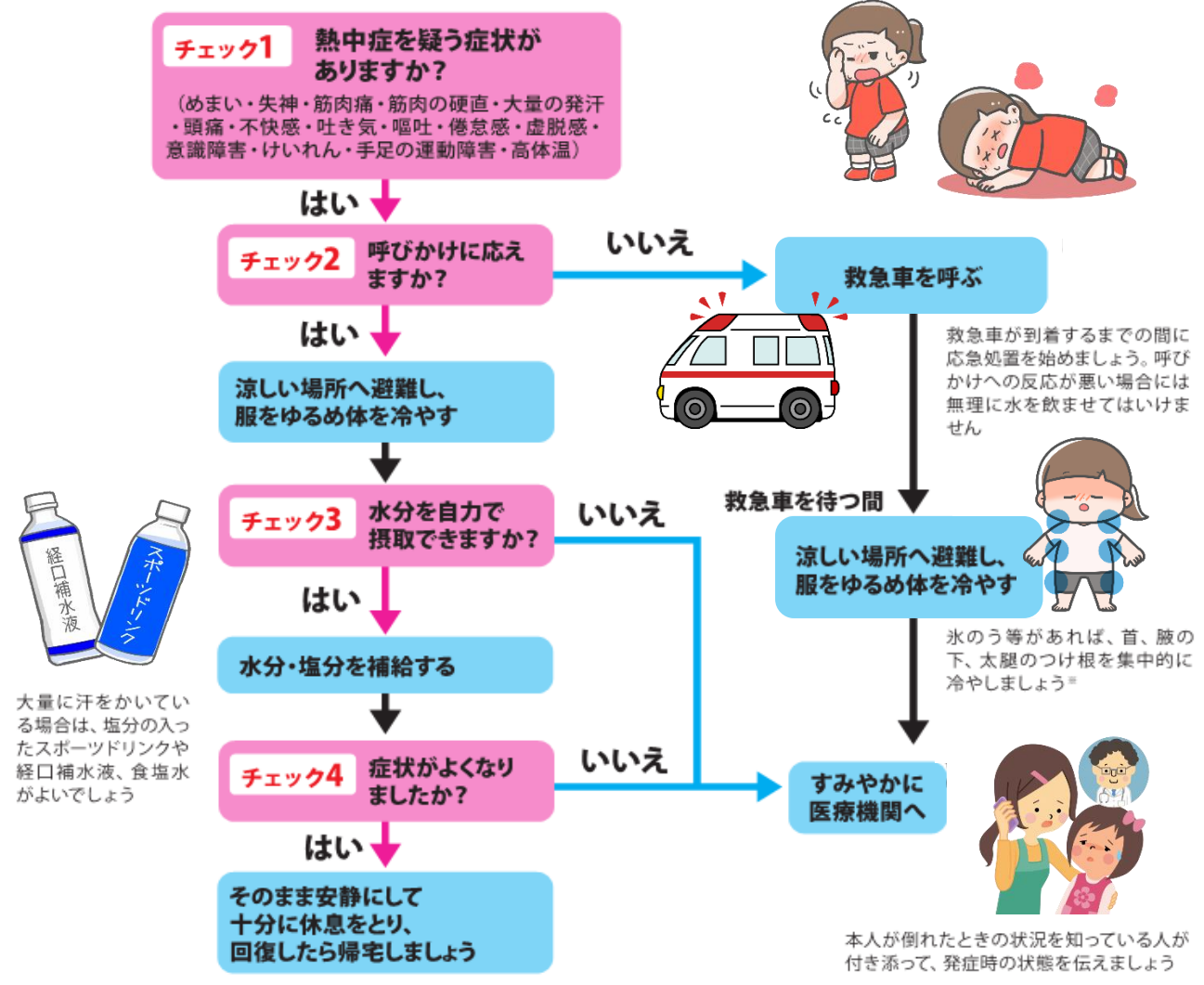


熱中症が疑われるときには・・・

熱中症を疑った時には、放置すれば死に直結する緊急事態であることをまず認識し、以下を参考に対応してください。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況確かめて対処しましょう。最初の処置が肝心です。



図：熱中症を疑ったときには何をすべきか

※スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

体温を効果的に下げるための方法の例

- 上着を脱がせ、服をゆるめて風通しを良くする。
- 皮膚に濡らしたタオルやハンカチをあて、うちわや扇風機で風を送る。
- 服の上から少しずつ冷やした水をかける。
- 氷嚢や冷えたペットボトルなどを、首、脇の下、足のつけ根にあてて冷やす。

